

研究開発用台車ロボット

ROS対応メガローバーVer. 3.0新登場

概要

可搬重量40kg前後の研究開発向け大型台車シリーズ。ベーシックモデルなら約38万円の低コストで導入可能。駆動方式は左右独立2輪+従輪から4WDS・メカナムホイール・屋外対応版など複数用意。LRF・デプスカメラ・制御用PCなどのオプションも多数存在し、多くはROSで容易に制御可能。

特徴

- ROSに対応し、各種センシングデバイスなどの周辺機器連携・SLAMや自律走行などの実装が容易
- 屋外対応・ビデオ会議システムを応用した遠隔制御機能など、常に市場のニーズを汲み取り製品開発にフィードバックしている
- 形状の変更、パーツの追加など、様々なカスタマイズのご要望にも柔軟に対応
- 有償レンタルサービスも承っており、実際に購入せずに試用や開発が可能

今後の展開

- 昨今のAI技術の発展・多様なセンシングデバイスの登場・自律走行のニーズの高まりなどを受け、それらの要望に応えられるような多様なオプション開発を展開したい。

テーマ(科学技術が描く明るい未来社会～大阪・関西万博に向けて～)への関連

- 安定して使いやすい研究開発用ベース車体を供給することで、警備や運搬、アバターといった多様なシーンにおけるロボットの社会実装を強力に支援していく

